

≪日銀短観予測シリーズ No.2016-1≫

日銀短観(6月調査)予測

— 内外需の低迷長期化、円高、株安下落を受け、景況感は悪化 —

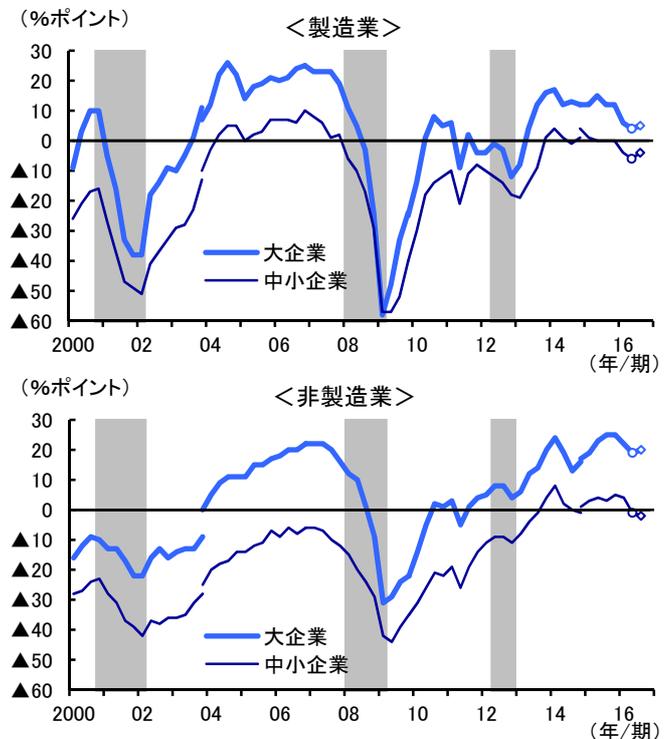
- (1) 7月1日公表予定の日銀短観(6月調査)では、内外需が低迷するなか、景況感は悪化する見込み。英国のEU離脱懸念などを受けた市場のリスク回避姿勢の強まりから、6月入り後、円高・株安が大幅に進んだことも下押しに作用。全規模・全産業の業況判断DIは、3%ポイントと前回調査対比▲4%ポイントの低下を予想。
- (2) 大企業・製造業の業況判断DIは、消費税率引き上げを巡る不確実性に伴う景況感の下押しは払拭されたものの、内外需の低迷長期化に加え、円高・株安が重石となり、前回調査対比▲2%ポイントと2四半期連続の悪化を予想。輸出環境の悪化から、加工業種を中心に悪化の公算。一方、大企業・非製造業の業況判断DIも、内需の低迷に加え、円高によるインバウンド需要の増勢鈍化や、海外からの受取利益の目減りなどを受け、卸売・小売や、対個人サービスが悪化し、前回調査対比▲3%ポイントと、2四半期連続の悪化を予想。
- (3) 中小企業・全産業は、前回調査対比▲4%ポイント低下し、11四半期ぶりに「悪化」超に転じると予想。内外需の伸び悩み、金融市場の混乱を背景に、製造業・非製造業ともに悪化の見込み。
- (4) 先行き(9月調査)は、全規模・全産業で6月調査対比+1%ポイントの上昇を予想。円高に加え、英国の国民投票や米国大統領選など、海外政治情勢の不透明感が引き続き景況感の下押し要因となる一方、15年度補正予算・16年度本予算の前倒し執行による当面の景気を下支えのほか、追加の経済対策への期待感もプラスに作用する見込み。

(図表1) 業況判断DI(「良い」-「悪い」)

		(実績)		(当社予測)	
		2015年 12月	2016年 3月	2016年 6月	先行き
大企業	製造業	12	6	4	5
	非製造業	25	22	19	20
	全産業	18	13	11	12
中堅企業	製造業	5	5	3	4
	非製造業	19	17	13	13
	全産業	14	12	9	10
中小企業	製造業	0	▲4	▲6	▲4
	非製造業	5	4	▲1	▲2
	全産業	3	1	▲3	▲3
全規模	製造業	4	1	▲1	0
	非製造業	13	11	6	6
	全産業	9	7	3	4

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

(図表2) 業況判断DIの推移



(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

(注1)○は最近(6月)、◇は先行き(9月)予測値。

(注2)シャド一部は景気後退期を表す。

(注3)調査対象企業等の見直しにより、04年3月、07年3月、10年3月、15年3月調査からデータは不連続。

【ご照会先】 調査部 研究員 菊地秀朗 (kikuchi.hideaki@jri.co.jp, 03-6833-6228)

- (5) 2015年度の設備投資計画（土地投資額含み、ソフトウェア投資額を除く）は、全規模・全産業ベースで、前年度比+6.6%と、前回調査対比▲1.3%の下方修正を予想。内需の低迷長期化に加え、新興国経済の減速や円高に伴う年度後半の輸出環境の悪化、年明け以降の金融市場の混乱から、例年を上回る下方修正での着地となる見込み。
- (6) 一方、2016年度の設備投資計画は、全規模・全産業で前年度比+1.0%と、前回調査対比+4.7%の上方修正を予想。円高などを背景に、企業収益の下振れ懸念は高まっているものの、既存設備の老朽化などを背景に、維持・更新投資の需要は堅調。また、人手不足下で、省力化・合理化などに向けた投資も期待可能。低金利や潤沢なキャッシュフローのもと、設備投資の腰折れは回避される見通しで、例年に比べ勢いに欠けるものの、上方修正は維持の公算。

(図表3)設備投資計画
(土地投資額を含みソフトウェア投資額を除く、前年度比)

(%)

		(実績) 2016年3月		(当社予測) 2016年6月			
		2015年度 (実績見込)	2016年度 (計画)	2015年度 (実績)	<修正率>	2016年度 (計画)	<修正率>
大企業	製造業	13.3	3.1	10.2	<▲ 2.7>	11.4	< 5.1>
	非製造業	8.1	▲ 2.9	4.7	<▲ 3.2>	3.1	< 2.8>
	全産業	9.8	▲ 0.9	6.5	<▲ 3.0>	5.9	< 3.6>
中堅企業	製造業	7.4	5.1	6.7	<▲ 0.7>	8.1	< 2.2>
	非製造業	4.2	▲ 10.0	4.9	< 0.6>	▲ 7.9	< 3.0>
	全産業	5.3	▲ 4.7	5.5	< 0.2>	▲ 2.3	< 2.7>
中小企業	製造業	4.8	▲ 22.0	6.3	< 1.4>	▲ 16.1	< 9.1>
	非製造業	3.5	▲ 18.0	8.4	< 4.8>	▲ 12.1	< 12.3>
	全産業	3.9	▲ 19.3	7.7	< 3.7>	▲ 13.3	< 11.3>
全規模	製造業	10.8	▲ 0.9	8.9	<▲ 1.7>	6.0	< 5.2>
	非製造業	6.7	▲ 6.8	5.5	<▲ 1.1>	▲ 1.6	< 4.4>
	全産業	8.0	▲ 4.8	6.6	<▲ 1.3>	1.0	< 4.7>

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

【ご照会先】調査部 研究員 菊地秀朗 (kikuchi.hideaki@jri.co.jp , 03-6833-6228)

◀日銀短観予測シリーズ▶は、4、7、10、12月に発表される日銀短観を予測するものです。公表1～2週間前を目途に、年4回配信する予定です。